

「ふくしまスカイパーク」指定管理者候補者の選定結果について

1 選定経過

	期日	項目	内容
1	7月24日	現場説明会	2団体参加 ・時間：午前10時～ ・内容：募集要項・仕様書の説明、施設案内、質問受付
2	7月25日～28日		質問件数：4件
3	8月2日	質問への回答	ホームページにて回答
4	8月3日～10日	指定申請書受付 (観光交流推進室)	2団体申請 ・申請書類の内容等点検、受付
5	8月28日	面接審査 (市民会館5階 501)	2団体面接 ・時間：午後3時10分～ ・内容：プレゼンテーション、質疑応答
6	9月29日	第1次審査(1回目) (商工観光部指定管理者管理運営委員会)	評価項目：7項目 ・各評価項目について評価(配分等詳細は審査集計表による) ・委員持点：各評価項目それぞれ10点 ・審査結果について継続協議
6	10月5日	第1次審査(2回目) (商工観光部指定管理者管理運営委員会)	・申請者2者における指定管理者候補者としての選外を決定
7	10月10日	福島市指定管理者選定委員会	・商工観光部指定管理者管理運営委員会第1次審査の結果報告

2 審査結果

- ・「A 団体」／最終合計点：47.13点 「選外」
- ・「B 団体」／最終合計点：39.30点 「選外」

【審査集計表】

評価項目	配分	選外(A団体)	選外(B団体)
① 施設の設置目的の理解	10%	3.10点	2.30点
② 施設利用者サービスの観点にたった施設利用促進	30%	8.40点	6.60点
③ 指定管理料(費用)の設定	15%	0.75点	0.75点
④ 効率的な施設の維持管理	10%	1.80点	2.70点
⑤ 関係法令等の遵守体制	10%	2.60点	2.80点
⑥ 社会的価値の実現	10%	2.80点	2.40点
⑦ 安定した施設運営	15%	4.05点	2.10点
合計	100%	23.50点	19.65点
※管理運営委員会委員が5名につき1項目50点満点⇒7項目全てで100点満点換算した合計点		47.00点	39.30点
上記採点結果に【インセンティブ加点】(+0.13点を加点)した最終合計点 ※B団体はインセンティブ加点なし		47.13点	39.30点
<p>【総評】選外(A団体)</p> <p>審査項目中、①・②に関して施設利用促進について一般客集客の利用促進に対する積極性が見られないことや、③に関して提案された指定管理料(費用)が標準的経費を大きく超えていること、④に関して保守管理点検等の施設管理計画が不十分であることなどから、審査による合計点数が100点満点中、半分の50点にも満たない低い評価となった。また、指定管理業務を行う上で法令遵守は必須条件であるにもかかわらず、指定管理施設内にある法人所有施設の違法状態が発覚してから長期に渡って存続していることは、是正に向け、真摯かつ迅速に対応しているとは言い難いうえに再発防止策が示されていないこと等を総合的に判断して、管理運営委員会において交渉権者候補者として選定しないこととした。</p>			
<p>【評価コメント】 選外(A団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的は理解しており、堅実な目標値設定である。 ・サービス向上に向けた意欲は、あまり感じられない。 ・施設の維持管理に関して、安全安心な施策についてのみの記載で、施設管理計画としては不十分。 ・関係法令遵守が徹底されていない。 ・団体の運営状況に不安な面があり、労働条件等への配慮が行き届くか疑問。 ・法令遵守の徹底は大前提として、業務遂行能力及び施設管理の実績については評価できる。 ・設置目的の理解や利用促進に関して、一般の方々の来場に繋がる部分が見えない。 ・法令遵守に関して、マニュアル等の整備がきちんとなされている。 ・集客という観点からはあまり積極的ではないと感じた。 ・利用促進に関して、航空機を利用し離発着する人については考えられているようだが、一般客についてはあまり積極的ではないと感じた。 ・法令違反があるようだが改善対策が示されていない。 ・安定した施設運営に関して、計画書では詳細に触れられておらず不明確。 			
<p>【総評】選外(B団体)</p> <p>審査項目中、①・②に関して提案された事業計画や資金調達計画が申請者の状況に比べやや過大で具体性・実現可能性に欠けていることや、③に関して提案された指定管理料(費用)が標準的経費を大きく超えていること、⑦に関して類似施設の運用実績もなく安定した施設運営の面に不安があること等から、審査による合計点数が100点満点中、半分の50点にも満たない低い評価となった。また、提出された財務諸表から経営状況を確認したところ、安定した財務基盤がなく、指定管理業務を遂行する能力があるとは言い難い状況であったこと等を総合的に判断し、管理運営委員会において交渉権者候補者として選定しないこととした。</p>			
<p>【評価コメント】 選外(B団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施に傾いており、その経費も企業からの寄付に頼っている。 ・利用促進に関して、イベント実施に偏りすぎており、施設利用者を増やす取り組みが不明瞭。 ・安定した施設運営に関して、新規事業であるため未知数。現時点では、施設の雇用者が決まっていない。 ・当該団体の現状を考慮すれば、管理運営方針・目標値ともに過大であり、達成できるとは思えない。 ・当該団体の現状からすると、実現可能性に乏しい過大な提案が多く、これまで提供できていたサービスの低下も危惧される。 ・利用促進に関して、実現可能かという問題はあるが、豊富なプランが示されている。 ・安定した施設管理に必要な職員体制を構築できるか疑問。 ・目標値アップの率の根拠が不明瞭。 ・サービス提案内容の財源が不透明。 ・施設の維持管理に関して、項目の提示はあるが期間的な計画の提示に欠けている。 ・安定した施設運営に関して、実績が乏しく運営には不安が残る。 			

4 参考

■提案内容の評価の視点

- ① 施設の設置目的の理解
 - ア 管理運営方針は、施設の設置目的に沿っているか
 - イ 目標値及び重視するサービス項目の設定が的確であるか

- ② 施設利用者サービスの観点にたった施設利用促進
 - ア 上記ア、イを踏まえ、施設の設置目的の具現化に資する主催事業の企画運営を行うなど、利用者に対するサービス向上が見込まれる提案となっているか

- ③ 指定管理料（費用）の設定
 - ア 標準的経費により採点
 - イ 必要な費目の設定は妥当か

- ④ 効率的な施設の維持管理
 - ア 保守管理点検等の施設管理計画が妥当か

- ⑤ 関係法令等の遵守体制
 - ア 個人情報保護及び秘密漏洩防止並びに関係法令について理解され、組織として適正な対策が講じられているか

- ⑥ 社会的価値の実現
 - ア 雇用や労働条件等に配慮した取り組みを行っているか
 - イ SDGsの実現に向けてどのように取り組むか

- ⑦ 安定した施設運営
 - ア 安定した施設管理に必要な業務遂行能力を有する職員計画及び人員体制となっているか
 - イ 類似施設の施設管理の実績があり、十分なものか
 - ウ 団体の組織体制及び経営状況は良好か

■指定管理者採点におけるインセンティブの付与について

1 趣 旨

利用者へのサービス向上と施設管理の安定性、継続性の観点から、良好な業務評価の指定管理者については、インセンティブを付与する。

2 インセンティブ方法（令和2年度は総合評価を算出しないため、対象外）

① これまでの指定管理者については、平成30年度～令和4年度の4か年の指定期間の評価結果を基に下記の通り積算し、その平均点を加点する。

② 加点数算出方法

- ・総合評価が「S（非常に良い）」⇒1年あたり：+1点
- ・総合評価が「A（良い）」⇒1年あたり：+0.5点
- ・総合評価が「B（標準である）」⇒1年あたり：加点なし
- ・総合評価が「C（努力が必要である）」⇒1年あたり：加点なし
- ・総合評価が「D（改善が必要である）」⇒1年あたり：加点なし

③ 上記①により算出された点数を採点によって出た点数（各部指定管理者管理運営委員会により審査委員数が異なるため、採点結果を100点満点に換算する）に加点することとする。